

イザナキ・イザナミの黄泉反り＝祈念まつり

神歌と舞踏

10月12日(月祝)

天寿ノ祈り
第二幕

雷成り鳴る
カミトナル

雲と地上との間に生じる雷、うなり声とうなる音、
地に響き天に響かすうの鳴り音。

大太鼓となまはげ、神歌から紡ぐ舞踏、
その響きの間は、雷と成り鳴りカミトナル。

地ノ響き：
山神の使い
“なまはげ”の祓い音・大太鼓

舞踏：
蓮遙抄「嵐」作・振付・演出・音楽：友恵しづね

天ノ響き：
神まつり[玉兎ノ響]・[月黄泉〈水鏡〉]

神歌と舞踏：
「天寿ノ祈り」

誘ノ奏：
[御舟出歌]

◆料金
小学生=1,000円
中高生=2,000円
大人=3,500円
60才以上=3,000円



開場=18時45分
開演=19時15分

場所：三鷹市公会堂
三鷹市野崎1-1-1 TEL:0422-29-9868

【イザナキ・イザナミの神話】

イザナミは火の神を生み出した後、悲しみの世界である黄泉の国へ行きました。会いたくなったイザナキが後を追いますが、「中を覗かないで」という約束を破ってしまい、恐ろしい姿に変わった妻を見て逃げ出しました。

それから後のこの世は地球を創造したイザナキとイザナミの別れの執念により、悲しみと怒りが成り鳴って地上に響き渡りました。イザナキは後悔と哀れの思いに打ちひしがれ、イザナミを失った悲しみを天に放ち、やがて空に充滿し償いの祈りの雨となり地に降り注ぎました。イザナミの報われない悲痛の思いと愛に満たされない欲望は、苦しみと悲しみの果てに渦めき声が大地に響き渡り充滿し、邪念を産み出す土となりました。なんとも暗黒なまでに創造されたこの世を眺め、天の神は、この荒れに荒れ果てた地上を哀れみ、イザナキとイザナミにこの世の創造を始まるからやり直すよう命じました。イザナキには償う心の鎖を解き放ち、その罪穢を抱える程の大御心を、愛を守る大器に変え、地上に再生しました。イザナミには抱えていた悲痛な悲しい涙を永遠に輝く愛の水鏡に変え、甦り（黄泉反り）を叶える神としての役割を与え黄泉の国の扉封じを解きました。二神が再び出逢い、愛を成り鳴らせることで、地球が愛の水器の地球生命体として耀きはじめます。悲愴の世界が歓喜の世界へと黄泉の国がひっくり反り、イザナキとイザナミは再び地上天国と云ふ名のキミの代を創造していきます。黄泉の国は2025年11月11日に扉封じを解く神事により開かれます。

〔三鷹市の地震を司る神〕

地震を司る国魂神は各地域の一の宮に鎮座されており、三鷹市は**大國魂神社**に国魂神が鎮座されています。この国魂神との霊道を繋ぐ為に、新潟の弥彦山山頂に宇宙と繋がる中継軸を繋ぎ、中間にある赤城山周辺に漂い霊道を塞ぐ靈魂を鎮魂したことで、弥彦山から大國魂神社まで霊道が繋がりました。そして、**大國魂神社**から近い三鷹市公会堂にて天地をまつり合わせる雷を成り鳴らせ、この世を地上天国へ誘います。

■ 舞踏

加賀谷早苗 Sanae Kagaya

舞踏家。友恵しづねに師事。
東京藝術大学美術学部工芸科漆芸専攻卒業。漆芸作家。
舞踏と漆を融合し表現活動を展開。
大学在学中より「エディンバラ国際フェスティバル」等、
「友恵しづねと白桃房」舞踏団の招聘公演等に参加。
「シビウ国際演劇祭」等ソロ公演を含め
国際演劇・舞踊フェスティバル等で舞台出演多数。
ライデン大学「ジャパニーズ・アート・プログラム2025
「舞踏講座」」客員教授。

WEBサイト <https://www.tomoe.com>

■ 神歌

逸見康成 Yasunari Henmi

水ノ芽太祖神殿 潤ノ泉守司
地球に聖なる音を奏でる会 聖ノ穂 誓司
ある時、心中に流れ星の種が蒔かれるビジョンとともに、
宇宙生命進化の大系にまつわる、太宇宙光響曲の天球譜面を拝受。
日々刻々新たな宇宙の響きを地上にあらわす「歌傳(ウタツタエ)」の道を歩む。
歌傳に関する情報HP: <https://www.shinspacegallery-2.jimdosite.com/>
お問合せ: yasulabo1022@gmail.com

■ 大太鼓

桑波田 彩香 Ayaka Kuwahata

洗足学園音楽大学 打楽器科 卒業。大学在学中に、和太鼓部「鼓弾」はじめ、
特別講座にて世界的太鼓奏者 林英哲氏に教わった事をきっかけに太鼓奏者を志す。
東京マラソンや大阪・関西万博などで演奏するかたわら、川越にて和太鼓体験教室を
開催するなど、生で感じることの大切さも積極的に伝えている。

■ 岩笛

横尾 靖 Yasushi Yokoo

株式会社マスマミ東京 代表取締役社長、表装美術家、
書家、日本画家。和紙作家等芸術家の作品を掛軸、屏風、
額に仕立、舞台の演出や空間創りなど幅広く
表装プロデューサーとして活躍。表装文化を日本伝統文化の
総合文化ととらえ世界に広げ文化交流に努めている。

主催: 地球に聖なる音を奏でる会 聖ノ穂-ひじり-
協力: 友恵しづねと白桃房・東京図鑑・2CO. [ニコ]
(株) 大心堂 雷おこし、(株) マスマミ東京
(有) 加賀谷商店 (株) ハートデザイン
後援: NPO 特定非営利活動法人 なまはげエリア
男鹿にがり米愛好会
協賛: 株式会社シルバーライフ
株式会社 BS プロパティマネジメント
一般社団法人全国古民家再生協会

お問合せ→地球に聖なる音を奏でる会 聖ノ穂-ひじり-
info@kototama.co.jp Tel: 03-6264-1279 HP: <https://daiseido-hijiri-3.jimdosite.com>



加賀谷早苗

■ なまはげ

声: 加賀谷卓郎 Takuro Kagaya
青: 佐野光一 Koichi Sano
赤: 大高亜喜子 Akiko Otaka

■ 神司・まつり司

麻生喜子 Yoshiko Aso

水ノ芽太祖神殿 斎司 神-Shin-空間Gallery運営
地球に聖なる音を奏でる会 聖ノ穂-ひじり-代表
23歳より自宅で行う水行からはじめ、仏教界凡そ8年、
神道界凡そ8年、踐修行と聴聞の学びを経る中に、神代文字と
麻の世界に巡り合い、技術の修練と体得の先に、文字との対話、
麻との対話によりそのものの伝えたい表現に徹することが
神の御傳を伝える事と覚し傳道家として、神の道を傳道し、
新たな未知もひらく活動を行っている。
神代文字の傳「真澄の会」、
神結の傳「麻むすひ会」主宰、
天孫ノ傳「風止麻遊解説」日立ノ座 真座。
HP: <https://www.shinspacegallery-2.jimdosite.com/>
YouTubeこの花咲く日芽神社
<https://www.youtube.com/@Hime-jinjya>



麻生喜子



逸見康成



横尾 靖



桑波田 彩香



■ 各駅からのバス便ご案内

JR三鷹駅
南口7番のりばから<鷹54>新川団地經由仙川行き、
<鷹61>調布駅北口行き、<鷹62>晃華学園東行き乗車
三鷹市役所前」下車
南口3番のりばから<鷹66>調布駅北口行き乗車「三鷹市
役所前」下車(所要約10分)
JR吉祥寺駅
公園口3番のりばから<吉01><境92>武蔵境駅南口行き、
または4番のりばから<吉06>調布駅北口行き乗車「三鷹市
役所前」下車(所要約15分)
京王線調布駅
北口11番または12番のりばから<吉06><吉14>
吉祥寺駅行き乗車「三鷹市役所前」下車(所要約20分)

◆ 料金

小学生=1,000円
中高生=2,000円
大人=3,500円
60才以上=3,000円

